

4-2 高齢化対策の推進

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度			
1	すこやか長寿まつり開催事業	健康福祉局 長寿支援課	イベント	○事業開始年度 平成24年度  【概要】高齢者の社会参加や健康・生きがいづくりを促進するとともに、家族・地域とのつながりを実感できるスポーツ・文化のイベントを実施する。 【対象者】60歳以上の市民を含む団体、家族、地域の仲間。 【具体的な活動内容】 ・スポーツ部門(グラウンド・ゴルフ大会、ゲートボール大会、ソフトテニス大会、ウォークラリー大会) ・文化部門(高齢者作品展、ねんりんステージ)	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・予算額 ・人件費	種目数 (単位:種目) 6 5 83.3%	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	参加者数 (単位:人) 6 3,650 93.6%	A	A	継続  (理由) 高齢者の生きがいづくり・健康づくりに寄与しており必要な事業である。なお、アンケート調査の実施など、事業効果の把握に努めること。		
2	敬老バス交付事業	健康福祉局 長寿支援課	助成・育成	○事業開始年度 昭和42年度  【概要】市営の電車、バス、桜島フェリー並びに民営バスを正規運賃の3分の1の負担で利用できる敬老バスを交付する。 【対象者】本市に居住し、住民登録を有する70歳以上の者。 【具体的な活動内容】 申請があった者に対し、敬老バスを交付する。(交付は本人に限定)	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・予算額 ・人件費	敬老バス交付枚数 (単位:枚) 72,000 72,012 100.0%	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	利用回数 (単位:回) 6,000,000 6,004,562 100.1%	A	A	継続  (理由) 高齢者の生活の利便性の向上と、生きがいづくり、社会参加の促進のために必要な事業である。		
3	すこやか入浴事業	健康福祉局 長寿支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成6年度  【概要】高齢者の生きがいづくりを促進し、健康を増進するため、公衆浴場を100円の自己負担で利用できる制度。 【対象者】本市に居住し、住民登録を有する70歳以上の者。 【具体的な活動内容】 ・すこやか入浴機能を搭載した、敬老バスを交付する。 ・自己負担 100円 ・利用回数 年30回以内	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・予算額 ・人件費	交付枚数 (単位:枚) 78,000 78,074 100.1%	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	利用回数 (単位:回) 550,000 551,875 100.3%	A	A	継続  (理由) ※外部評価報告書参照		
4	老人クラブ補助金交付事業	健康福祉局 長寿支援課	助成・育成	○事業開始年度 昭和37年度  【概要】老人クラブの健全な育成を図るため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対し助成を行う。 【対象者】市老人クラブ連合会及び単位老人クラブ 【具体的な活動内容】 老人クラブの結成・育成・研修等各種事業に対する補助金交付 ・単位老人クラブ補助金 ・連合会補助金	国補助	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・予算額 ・人件費	老人クラブ数 (単位:件) 330 335 101.5%	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	老人クラブ加入者数 (単位:%) 20,500 19,861 96.9%	A	B	見直し  (理由) 会員数が年々減少していることから、老人クラブとして求められるニーズ等の実態や課題の把握に努めるとともに、「老人クラブ」という名称も変更し、会員増となるような取組を進めるべきである。		
5	老人クラブ組織強化事業	健康福祉局 長寿支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成24年度 (平成24年度は県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業で実施)  【概要】会員数が減少傾向にある単位老人クラブの組織を強化するため、市老人クラブ連合会に委託して、活動推進員を置き、新規会員の加入促進やクラブ数の増を図る。 【対象者】市老人クラブ連合会 【具体的な活動内容】 市老人クラブ連合会に委託して、活動推進員による、新規会員の加入促進やクラブ数の増を図る。	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・予算額 ・人件費	単位老人クラブからの相談件数 (単位:件) 75 75 100.0%	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	新規設立クラブ数 (単位:件) 4 6 150.0%	B	F	廃止  (理由) 財源となる基金が終了していることから、本事業は廃止すべきである。なお、会員増に向けた取組については、引き続き、老人クラブ補助金交付事業の中で検討すること。		
6	高齢者福祉バス運行事業	健康福祉局 長寿支援課	市民サービス	○事業開始年度 昭和60年度  【概要】高齢者の教養向上のための研修等に利用する高齢者福祉バスを団体に貸与することにより、高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進を図る。 【対象者】単位老人クラブまたは、60歳以上の高齢者を10人以上含む団体。(ただし、ゆうかり号は20人以上含む団体) 【具体的な活動内容】 ・運行範囲を県内一円とする。 ・利用団体には、無料で提供している。(ただし、高速料金、フェリー代、有料駐車場代等は実費負担)	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] (内訳) ・予算額 ・人件費	運行回数 (単位:回) 700 709 101.3%	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	利用人員 (単位:人) 13,000 14,623 112.5%	A	A	継続  (理由) 高齢者の生きがいづくりや社会参加に寄与しており、必要な事業である。		

4-2 高齢化対策の推進

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度				24年度	25年度
7	敬老祝事業	健康福祉局 長寿支援課	市民サービス	○事業開始年度 昭和32年度 【概要】「敬老の日」の一環として、市内に居住する高齢者に対し、長寿を祝福するとともに敬老の意を表し、高齢者の生きがいの助長と敬老の気風の高揚を図る。 【対象者】満88歳、満100歳、100歳を超える男女最高齢者及び満88歳以上の方。 【具体的な活動内容】 ・満88歳の方へ敬老祝金3万円 ・満100歳の方へ敬老祝金10万円 ・100歳を超える男女最高齢者の方へ敬老祝金20万円 ・満88歳以上の方へ記念品の贈呈	市単	[概算コスト] 99,231 (内訳) ・決算額 95,617 ・人件費 3,614 (0.45人)	[概算コスト] 91,219 (内訳) ・決算額 87,654 ・人件費 3,565 (0.45人)	[概算コスト] 96,852 (内訳) ・決算額 93,320 ・人件費 3,532 (0.45人)	[概算コスト] 110,853 (内訳) ・予算額 107,354 ・人件費 3,499 (0.45人)	敬老祝金支給金額 (単位:千円)	[目標値] 81,740 [実績値] 81,740 <達成率> 100.0%	[目標値] 74,470 [実績値] 74,470 <達成率> 100.0%	[目標値] 80,020 [実績値] 80,020 <達成率> 100.0%	[目標値] 90,110 [実績値] 90,110 <達成率> 100.0%	敬老祝金支給者数 (単位:人)	[目標値] 2,107 [実績値] 2,107 <達成率> 100.0%	[目標値] 2,177 [実績値] 2,177 <達成率> 100.0%	[目標値] 2,376 [実績値] 2,376 <達成率> 100.0%	[目標値] 2,668 [実績値] 2,668 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
8	地域ふれあい交流助成事業	健康福祉局 長寿支援課 (谷山・福祉課)	助成・育成	○事業開始年度 平成10年度 【概要】老人クラブ、あいご会、町内会等が、高齢者と小中学生及び幼稚園・保育園児とがふれあう事業を行う場合、補助金を交付する。 【対象者】高齢者(65歳以上)10人以上と小中学生5人以上がふれあう事業及び、幼稚園又は保育所において高齢者(65歳以上)5人以上と園児がふれあう事業を実施する老人クラブ、町内会、あいご会等の団体。 【具体的な活動内容】 グラウンドゴルフやもちつき大会などのふれあう事業を高齢者と小中学生及び園児が行う際に、その活動費の一部を助成し、高齢者の生きがいづくりを促進するとともに高齢社会への理解を深め、世代間の交流を図る。	市単	[概算コスト] 13,989 (内訳) ・決算額 11,580 ・人件費 2,409 (0.30人)	[概算コスト] 14,740 (内訳) ・決算額 12,363 ・人件費 2,377 (0.30人)	[概算コスト] 14,361 (内訳) ・決算額 12,006 ・人件費 2,355 (0.30人)	[概算コスト] 15,876 (内訳) ・予算額 13,543 ・人件費 2,333 (0.30人)	助成団体数 (単位:団体)	[目標値] 200 [実績値] 216 <達成率> 108.0%	[目標値] 200 [実績値] 233 <達成率> 116.5%	[目標値] 200 [実績値] 234 <達成率> 117.0%	[目標値] 200 [実績値] 200 <達成率> 100.0%	事業実施数 (単位:件)	[目標値] 300 [実績値] 295 <達成率> 98.3%	[目標値] 300 [実績値] 320 <達成率> 106.7%	[目標値] 300 [実績値] 314 <達成率> 104.7%	[目標値] 300 [実績値] 300 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 世代間の交流による、高齢者の生きがいづくり等に寄与しており、必要な事業である。 なお、助成団体にアンケート調査を実施するなど、事業効果の把握に努めること。
9	高齢者ゲートボール場等管理事業	健康福祉局 長寿支援課 (谷山・福祉課)	施設維持・管理	○事業開始年度 昭和48年度 【概要】高齢者の健康と仲間づくり、地域社会への連帯意識の高揚を図るため、ゲートボール場等の管理を行う。 【対象者】 【具体的な活動内容】ゲートボール場、グラウンド・ゴルフ場・レジャー農園の管理	市単	[概算コスト] 2,615 (内訳) ・決算額 1,812 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 3,791 (内訳) ・決算額 2,999 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 4,345 (内訳) ・決算額 3,560 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 3,243 (内訳) ・予算額 2,465 ・人件費 778 (0.10人)	設置箇所数 (単位:箇所)	[目標値] 66 [実績値] 66 <達成率> 100.0%	[目標値] 62 [実績値] 62 <達成率> 100.0%	[目標値] 57 [実績値] 57 <達成率> 100.0%	[目標値] 57 [実績値] 57 <達成率> 100.0%	利用団体数 (単位:団体)	[目標値] 73 [実績値] 73 <達成率> 100.0%	[目標値] 69 [実績値] 69 <達成率> 100.0%	[目標値] 64 [実績値] 64 <達成率> 100.0%	[目標値] 64 [実績値] 64 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 高齢者の生きがいづくり、健康づくりを助長する事業であり、必要な事業である。 なお、利用報告等に合わせアンケート調査を実施するなど、事業効果の把握に努めること。
10	愛のふれあい会食事業	健康福祉局 長寿支援課	市民サービス	○事業開始年度 平成3年度 【概要】閉じこもりがちな高齢者を対象として会食を行うボランティア団体に給食サービスを提供することにより、高齢者の孤独感の解消、健康の保持及び生きがいづくりを助長する。 【対象者】閉じこもりがちな65歳以上の高齢者と会食を実施する老人クラブ、あいご会、町内会等 【具体的な活動内容】 会食を実施するボランティア団体が給食サービスを提供する配食施設に対し、必要な食数を発注する。 費用については、利用者が1食あたり200円、市が委託料として1食あたり450円(税抜き)をそれぞれ配食施設に支払う。	市単	[概算コスト] 54,185 (内訳) ・決算額 52,579 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 56,360 (内訳) ・決算額 54,775 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 58,168 (内訳) ・決算額 56,598 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 59,044 (内訳) ・予算額 57,489 ・人件費 1,555 (0.20人)	延利用団体数 (単位:団体)	[目標値] 4,392 [実績値] 5,627 <達成率> 128.1%	[目標値] 4,344 [実績値] 5,795 <達成率> 133.4%	[目標値] 4,392 [実績値] 6,025 <達成率> 137.2%	[目標値] 4,356 [実績値] 4,356 <達成率> 100.0%	配食数 (単位:食)	[目標値] 109,800 [実績値] 112,536 <達成率> 102.5%	[目標値] 114,600 [実績値] 115,807 <達成率> 101.1%	[目標値] 118,100 [実績値] 122,033 <達成率> 103.3%	[目標値] 123,400 [実績値] 123,400 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 高齢者の孤独感の解消や健康の保持及び生きがいづくりが図られており、必要な事業である。
11	元気高齢者活動支援事業	健康福祉局 長寿支援課	啓発・広報	○事業開始年度 平成13年度 【概要】各種技能、知識を有する高齢者を元気高齢者として登録し、各種団体や個人の依頼に応じて紹介する。 【登録者】各種技能、知識を有する65歳以上の高齢者 【具体的な活動内容】 ・元気高齢者の登録 ・周知広報用のカレンダー作製 ・各種団体や個人からの依頼に基づき元気高齢者を紹介し、高齢者の社会参加を支援する。	市単	[概算コスト] 1,495 (内訳) ・決算額 692 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 1,333 (内訳) ・決算額 541 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 1,402 (内訳) ・決算額 617 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 1,495 (内訳) ・予算額 717 ・人件費 778 (0.10人)	登録者数 (単位:人)	[目標値] 53 [実績値] 53 <達成率> 100.0%	[目標値] 48 [実績値] 48 <達成率> 100.0%	[目標値] 57 [実績値] 57 <達成率> 100.0%	[目標値] 57 [実績値] 57 <達成率> 100.0%	紹介件数 (単位:件)	[目標値] 100 [実績値] 96 <達成率> 96.0%	[目標値] 100 [実績値] 136 <達成率> 136.0%	[目標値] 100 [実績値] 134 <達成率> 134.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 高齢者の社会参加、生きがいづくり等に寄与する事業であるが、登録者数に対して紹介件数が少ないことから、広報手段の見直し等による紹介件数増への取組など、事業手法について検討すべきである。
12	心をつなぐ訪問給食事業	健康福祉局 長寿支援課 (谷山・福祉課)	市民サービス	○事業開始年度 平成5年度 【概要】支援を必要とするひとり暮らし高齢者等に定期的に食事を提供し、食生活の向上及び孤独感の解消を図るとともに安否確認を行うことにより、配食に従事する者とのふれあいを通じて自立意欲を促す。 【対象者】 ①ひとり暮らしで、定期的な安否確認及び食生活の手助けが必要とする者 ②要支援以上の高齢者のみの世帯の者 ③高齢者だけで構成される世帯に、要介護3以上の高齢者がいる場合、要支援以上の者 【具体的な活動内容】利用者の居宅への昼食・夕食の配食と配達時の安否確認を行う。	市単	[概算コスト] 228,889 (内訳) ・決算額 222,465 ・人件費 6,424 (0.80人)	[概算コスト] 233,805 (内訳) ・決算額 227,467 ・人件費 6,338 (0.80人)	[概算コスト] 230,224 (内訳) ・決算額 223,945 ・人件費 6,279 (0.80人)	[概算コスト] 235,129 (内訳) ・予算額 228,908 ・人件費 6,221 (0.80人)	利用者数 (単位:人)	[目標値] 1,978 [実績値] 1,978 <達成率> 100.0%	[目標値] 2,024 [実績値] 2,024 <達成率> 100.0%	[目標値] 2,025 [実績値] 2,025 <達成率> 100.0%	[目標値] 1,958 [実績値] 1,958 <達成率> 100.0%	配食数 (単位:食)	[目標値] 379,589 [実績値] 379,589 <達成率> 100.0%	[目標値] 385,526 [実績値] 385,526 <達成率> 100.0%	[目標値] 380,872 [実績値] 380,872 <達成率> 100.0%	[目標値] 390,034 [実績値] 390,034 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照

4-2 高齢化対策の推進

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度			
13	紙おむつ等助成事業	健康福祉局 長寿支援課 (谷山・福祉課)	助成・育成	○事業開始年度 平成12年度 【概要】紙おむつ等を使用している住民税非課税世帯の高齢者に対し、その費用の一部を助成又は現物を支給することにより、高齢者の福祉及び衛生の向上を図るとともに、家族の経済的負担の軽減を図る。 【対象者】紙おむつ等を使用している65歳以上の方で、住民税非課税世帯の方(ただし生活保護受給者は除く) 【具体的な活動内容】在宅の方には介護度に応じて現物を、入院の方には現金を助成する。	市単	[概算コスト] 218,137 (内訳) ・決算額 213,319 ・人件費 4,818 (0.60人)	[概算コスト] 241,269 (内訳) ・決算額 236,515 ・人件費 4,754 (0.60人)	[概算コスト] 250,402 (内訳) ・決算額 245,693 ・人件費 4,709 (0.60人)	[概算コスト] 285,364 (内訳) ・予算額 280,698 ・人件費 4,666 (0.60人)	認定者数 (単位:件) 5,900 [実績値] 5,946 <達成率> 100.8%	[目標値] 6,700 [実績値] 6,771 <達成率> 101.1%	[目標値] 7,000 [実績値] 7,059 <達成率> 100.8%	[目標値] 7,300	高齢者の保健衛生の向上と負担軽減 (単位:人) [実績値] [実績値] [実績値]	[目標値] [目標値] [目標値] [目標値] [実績値] [実績値] [実績値] [実績値] <達成率> <達成率> <達成率>	A	A	継続 (理由) 紙おむつを使用する高齢者の負担軽減と保健衛生の向上のため必要な事業である。		
14	家族介護講習会等開催事業	健康福祉局 長寿支援課	市民サービス	○事業開始年度 平成8年度 【概要】要介護の高齢者等の介護者を対象に介護講習会を開催し、介護技術の習得による家族の介護負担の軽減を図る。 また、介護者の心身のリフレッシュを図り、在宅介護を支援する。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】年2回(定員各30名)介護方法等についての知識・技術等を習得させるための講習会を開催、日帰り介護者同士の情報交換やリフレッシュを目的とした交流会を開催する。	特会(国・県補助)	[概算コスト] 2,946 (内訳) ・決算額 1,340 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 2,604 (内訳) ・決算額 1,019 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 2,312 (内訳) ・決算額 742 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 3,447 (内訳) ・予算額 1,892 ・人件費 1,555 (0.20人)	講習会等開催回数 (単位:回) 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2	参加人員 (単位:人) 60 [実績値] 60 <達成率> 100.0%	[目標値] 60 [実績値] 45 <達成率> 75.0%	[目標値] 60 [実績値] 28 <達成率> 46.7%	B	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照	
15	高齢者福祉電話設置事業	健康福祉局 長寿支援課 (谷山・福祉課)	市民サービス	○事業開始年度 昭和50年度 【概要】高齢者の孤独感を和らげるとともに、地域住民の協力や高齢者福祉相談員により安否の確認を行うため、ひとり暮らしの高齢者宅等に福祉電話を設置する。 【対象者】ひとり暮らしの高齢者、または高齢者だけの世帯で寝たきりもしくは病気が身体的な状況によって、常に生命の安全確保が懸念されている世帯(おおむね65歳以上の方で住民税が非課税世帯であり、現に電話が設置されていない世帯) 【具体的な活動内容】福祉電話を貸与するとともに、地域住民の協力や高齢者福祉相談員により安否の確認を行う。	市単	[概算コスト] 5,242 (内訳) ・決算額 3,556 ・人件費 1,686 (0.21人)	[概算コスト] 5,028 (内訳) ・決算額 3,364 ・人件費 1,664 (0.21人)	[概算コスト] 4,466 (内訳) ・決算額 2,818 ・人件費 1,648 (0.21人)	[概算コスト] 4,674 (内訳) ・予算額 3,041 ・人件費 1,633 (0.21人)	電話の貸与稼働回数 (単位:件) 110 [実績値] 146 <達成率> 132.7%	[目標値] 110 [実績値] 134 <達成率> 121.8%	[目標値] 110 [実績値] 114 <達成率> 103.6%	[目標値] 110	安否確認のための延電話回数 (単位:回) 2,027 [実績値] 2,027 <達成率> 100.0%	[目標値] 1,809 [実績値] 1,809 <達成率> 100.0%	[目標値] 2,547 [実績値] 2,547 <達成率> 100.0%	[目標値] 2,127	A	A	継続 (理由) 一人暮らし高齢者の安否確認や緊急時の連絡手段の確保のため必要な事業である。
16	寝たきり高齢者等寝具洗濯サービス事業	健康福祉局 長寿支援課 (谷山・福祉課)	市民サービス	○事業開始年度 昭和52年度 【概要】在宅の寝たきり状態で常時介護を要する状態にある高齢者の寝具を洗濯・消毒・乾燥する。 【対象者】要介護3以上と認定された65歳以上の在宅の方。 【具体的な活動内容】寝具の洗濯・消毒・乾燥を年3回以内(8~11月の申請者は年2回、12月以降の申請者は年1回)行う。 【利用料】所得に応じて負担あり。	市単	[概算コスト] 1,586 (内訳) ・決算額 783 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 1,796 (内訳) ・決算額 1,004 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 1,816 (内訳) ・決算額 1,031 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 2,265 (内訳) ・予算額 1,487 ・人件費 778 (0.10人)	決定者数 (単位:件) 207 [実績値] 207 <達成率> 100.0%	[目標値] 242 [実績値] 242 <達成率> 100.0%	[目標値] 244 [実績値] 244 <達成率> 100.0%	[目標値] 244	延利用者数 (単位:件) 270 [実績値] 270 <達成率> 100.0%	[目標値] 347 [実績値] 347 <達成率> 100.0%	[目標値] 352 [実績値] 352 <達成率> 100.0%	[目標値] 352	A	A	継続 (理由) 在宅の寝たきり高齢者等の保健衛生の向上のために必要な事業である。
17	老人介護手当支給事業	健康福祉局 長寿支援課 (谷山・福祉課)	助成・育成	○事業開始年度 昭和61年度 【概要】在宅の寝たきり高齢者または重度認知症高齢者を介護している方に、介護手当を支給する。 【対象者】要介護3以上かつ65歳以上の方と同居またはこれに準ずる状態で6ヶ月以上介護している方など、一定の条件に該当する者 【具体的な活動内容】寝たきり高齢者等1人につき年額9万円の手当を支給する。(国の特別障害手当、経過的福祉手当の受給者を介護している場合は年額4万5千円)	市単	[概算コスト] 182,035 (内訳) ・決算額 176,414 ・人件費 5,621 (0.70人)	[概算コスト] 181,211 (内訳) ・決算額 175,665 ・人件費 5,546 (0.70人)	[概算コスト] 177,480 (内訳) ・決算額 171,986 ・人件費 5,494 (0.70人)	[概算コスト] 182,227 (内訳) ・予算額 176,784 ・人件費 5,443 (0.70人)	支給件数 (単位:件) 2,000 [実績値] 2,025 <達成率> 101.3%	[目標値] 2,000 [実績値] 2,019 <達成率> 101.0%	[目標値] 2,000 [実績値] 1,970 <達成率> 98.5%	[目標値] 2,000	支給額 (単位:千円) 170,000 [実績値] 176,130 <達成率> 103.6%	[目標値] 170,000 [実績値] 175,365 <達成率> 103.2%	[目標値] 170,000 [実績値] 171,720 <達成率> 101.0%	[目標値] 170,000	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
18	寝たきり高齢者等理髪・美容サービス事業	健康福祉局 長寿支援課 (谷山・福祉課)	市民サービス	○事業開始年度 平成6年度 【概要】在宅の寝たきり高齢者に対して、委託先の理髪・美容業者を派遣し、理髪サービスまたは美容サービスを行う。 【対象者】要介護3以上と認定された65歳以上の在宅の方。 【具体的な活動内容】理髪・美容サービスを年3回以内(8~11月の申請者は年2回、12月以降の申請者は年1回)行う。所得に応じて自己負担あり。	市単	[概算コスト] 4,319 (内訳) ・決算額 1,910 ・人件費 2,409 (0.30人)	[概算コスト] 4,448 (内訳) ・決算額 2,071 ・人件費 2,377 (0.30人)	[概算コスト] 4,520 (内訳) ・決算額 2,165 ・人件費 2,355 (0.30人)	[概算コスト] 4,764 (内訳) ・予算額 2,431 ・人件費 2,333 (0.30人)	決定者数 (単位:人) 355 [実績値] 355 <達成率> 100.0%	[目標値] 355 [実績値] 385 <達成率> 108.5%	[目標値] 355 [実績値] 378 <達成率> 106.5%	[目標値] 355	延利用者数 (単位:人) 500 [実績値] 497 <達成率> 99.4%	[目標値] 500 [実績値] 532 <達成率> 106.4%	[目標値] 500 [実績値] 557 <達成率> 111.4%	[目標値] 500	A	A	継続 (理由) 在宅の寝たきり高齢者等の保健衛生の向上のために必要な事業である。

4-2 高齢化対策の推進

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度			
19	虚弱高齢者等福祉用具給付事業	健康福祉局 長寿支援課 (谷山・福祉課)	助成・育成	○事業開始年度 平成12年度  【概要】虚弱な高齢者等に対して介護保険対象外の福祉用具を給付する。 【対象者】65歳以上の在宅の高齢者で用具の必要性が認められる者。 【具体的な活動内容】 虚弱なひとり暮らしの高齢者等に対して、寝たきり予防等を図るため介護保険対象外の福祉用具(手押し車・電磁調理器・自動消火器・火災警報機・吸引器・入浴担架・人口呼吸器用充電機・湯沸器)を給付する。 (所得税の課税状況に応じた自己負担あり)	市単	[概算コスト] 11,786 (内訳) ・決算額 7,771 ・人件費 4,015 (0.50人)	[概算コスト] 10,413 (内訳) ・決算額 6,451 ・人件費 3,962 (0.50人)	[概算コスト] 10,959 (内訳) ・決算額 7,034 ・人件費 3,925 (0.50人)	[概算コスト] 13,191 (内訳) ・予算額 9,303 ・人件費 3,888 (0.50人)	給付件数 (単位:件) 700  [実績値] 790  <達成率> 112.9%	[目標値] 700  [実績値] 713  <達成率> 101.9%	[目標値] 700  [実績値] 745  <達成率> 106.4%	[目標値] 700  [実績値] 700  <達成率> 100.0%	虚弱高齢者の在宅支援と寝たきり予防 (単位: )  [実績値] [実績値] [実績値]  <達成率> <達成率> <達成率>	[目標値] [目標値] [目標値] [目標値]	[実績値] [実績値] [実績値] [実績値]	A	A	継続 (理由) 高齢者の在宅支援と用具給付による寝たきり予防に寄与しており、必要な事業である。 なお、事業利用者へのアンケートを実施するなど、事業効果の把握に努めること。	
20	家族介護慰労金支給事業	健康福祉局 長寿支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成13年度  【概要】 在宅の寝たきり高齢者等を介護している方を慰労する目的で、家族介護慰労金を支給する。 【対象者】 1年間継続して要介護4以上と認定され、その期間中、介護保険のサービス(年間7日間以内のショートステイの利用を除く)を利用しなかった65歳以上の高齢者を介護している方(高齢者、介護者ともに本市住所を有し、住民税非課税世帯であること。) 【具体的な活動内容】 寝たきり高齢者等1人につき年額10万円を支給する。	特会(国・県補助)	[概算コスト] 1,903 (内訳) ・決算額 1,100 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 2,092 (内訳) ・決算額 1,300 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 2,085 (内訳) ・決算額 1,300 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 2,978 (内訳) ・予算額 2,200 ・人件費 778 (0.10人)	支給件数 (単位:件) 11  [実績値] 11  <達成率> 100.0%	[目標値] 11  [実績値] 13  <達成率> 118.2%	[目標値] 11  [実績値] 13  <達成率> 118.2%	[目標値] 11  [実績値] 13  <達成率> 118.2%	支給額 (単位:千円) 1,100  [実績値] 1,100  <達成率> 100.0%	[目標値] 1,100  [実績値] 1,300  <達成率> 118.2%	[目標値] 1,100  [実績値] 1,300  <達成率> 118.2%	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照	
21	高齢者のしおり作成事業	健康福祉局 長寿支援課	啓発・広報	○事業開始年度 昭和63年度  【概要】 高齢者の保健福祉サービスに関する施策及び健康づくりのポイントや介護予防に資する基本的な知識などを分かりやすく掲載した「輝きライフ」を隔年で作成し配布する。 【配布先】 市関係窓口、民生委員児童委員、地域福祉館、地域公民館等。	特会(国・県補助)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 4,344 (内訳) ・決算額 1,967 ・人件費 2,377 (0.30人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 5,128 (内訳) ・予算額 2,795 ・人件費 2,333 (0.30人)	作成部数 (単位:部) —  [実績値] —  <達成率> 100.0%	[目標値] 31,000  [実績値] 31,000  <達成率> 100.0%	[目標値] —  [実績値] —  <達成率> 100.0%	[目標値] 31,000  [実績値] 31,000  <達成率> 100.0%	配付部数 (単位:部) 5,000  [実績値] 5,000  <達成率> 100.0%	[目標値] 26,659  [実績値] 26,659  <達成率> 100.0%	[目標値] 4,091  [実績値] 4,091  <達成率> 100.0%	[目標値] 26,700  [実績値] 26,700  <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 高齢者向けサービスの情報提供は必要であるが、介護保険制度や各種事業のパンフレットなど内容が重複する項目もあることから、それらの情報をまとめ、高齢者に特化した冊子として作成することを検討すべきである。
22	心をつなぐともしびグループ活動推進事業	健康福祉局 長寿支援課	その他	○事業開始年度 平成5年度  【概要】 地域のボランティアを「ともしびグループ」として登録し、ひとり暮らし高齢者等への声かけや福祉ニーズの掘り起こし等のボランティア活動を行い、地域で支え合う地域福祉を推進する。 【具体的な活動内容】 ひとり暮らし高齢者、寝たきり高齢者等を対象に声かけ、福祉ニーズの掘り起こし、在宅福祉に関する情報提供を行う。	特会(国・県補助)	[概算コスト] 1,870 (内訳) ・決算額 1,067 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 1,723 (内訳) ・決算額 931 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 1,664 (内訳) ・決算額 879 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 1,956 (内訳) ・予算額 1,178 ・人件費 778 (0.10人)	ともしびグループ数 (単位:団体) 180  [実績値] 188  <達成率> 104.4%	[目標値] 180  [実績値] 181  <達成率> 100.6%	[目標値] 180  [実績値] 179  <達成率> 99.4%	[目標値] 180  [実績値] 180  <達成率> 100.0%	対象高齢者数 (単位:人) 1,300  [実績値] 1,382  <達成率> 106.3%	[目標値] 1,300  [実績値] 1,346  <達成率> 103.5%	[目標値] 1,300  [実績値] 1,363  <達成率> 104.8%	[目標値] 1,300  [実績値] 1,300  <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 高齢者支援のためのボランティア育成のため、必要な事業である。
23	高齢者虐待防止対策事業	健康福祉局 長寿支援課	その他	○事業開始年度 平成20年度  【概要】 平成21年度に設置した高齢者虐待防止ネットワーク協議会を中心に、高齢者の虐待防止や早期発見、被虐待者や養護者への支援を行うとともに、関係機関の連携体制の強化を図る。 【対象者】 ・高齢者虐待対応に関係する機関等(地域包括支援センター、民生委員、警察等) 【具体的な活動内容】 ・高齢者虐待防止ネットワーク協議会(実務者会議、代表者会議)の運営 ・虐待対応 ・高齢者虐待防止市民向けリーフレットの作成	特会(国・県補助)	[概算コスト] 4,540 (内訳) ・決算額 1,890 ・人件費 2,650 (0.33人)	[概算コスト] 2,769 (内訳) ・決算額 154 ・人件費 2,615 (0.33人)	[概算コスト] 2,676 (内訳) ・決算額 86 ・人件費 2,590 (0.33人)	[概算コスト] 3,024 (内訳) ・予算額 458 ・人件費 2,566 (0.33人)	高齢者虐待防止ネットワーク協議会開催回数 (単位:回) 4  [実績値] 4  <達成率> 100.0%	[目標値] 3  [実績値] 3  <達成率> 100.0%	[目標値] 3  [実績値] 3  <達成率> 100.0%	[目標値] 3  [実績値] 3  <達成率> 100.0%	高齢者虐待対応(相談)件数 (単位:件) 60  [実績値] 68  <達成率> 113.3%	[目標値] 60  [実績値] 72  <達成率> 120.0%	[目標値] 60  [実績値] 70  <達成率> 116.7%	[目標値] 60  [実績値] 60  <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 高齢者虐待防止や虐待の早期発見、被虐待者や養護者の支援のため、必要な事業である。
24	高齢者福祉相談員設置事業	健康福祉局 長寿支援課	市民サービス	○事業開始年度 昭和47年度  【概要】 電話による安否確認や相談ならびに来庁者等の相談に応じる高齢者相談員を設置する。(相談員数2名) 【対象者】 在宅介護支援システム、ひとり暮らし高齢者等安心通報システム、高齢者福祉電話を利用している高齢者 【具体的な活動内容】 高齢者に対し、電話で安否確認や相談ならびに来庁者等の相談に応じる。	市単	[概算コスト] 7,028 (内訳) ・決算額 6,626 ・人件費 402 (0.05人)	[概算コスト] 4,757 (内訳) ・決算額 4,361 ・人件費 396 (0.05人)	[概算コスト] 4,817 (内訳) ・決算額 4,425 ・人件費 392 (0.05人)	[概算コスト] 4,825 (内訳) ・予算額 4,436 ・人件費 389 (0.05人)	相談員数 (単位:人) 3  [実績値] 3  <達成率> 100.0%	[目標値] 2  [実績値] 2  <達成率> 100.0%	[目標値] 2  [実績値] 2  <達成率> 100.0%	[目標値] 2  [実績値] 2  <達成率> 100.0%	相談件数 (単位:件) 18,000  [実績値] 19,465  <達成率> 108.1%	[目標値] 18,000  [実績値] 18,780  <達成率> 104.3%	[目標値] 18,000  [実績値] 22,506  <達成率> 125.0%	[目標値] 18,000  [実績値] 18,000  <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 高齢者向けの各種施策の案内のほか、一人暮らし高齢者の安否確認に寄与しており、必要な事業である。 なお、地域における高齢者への包括的な支援は地域包括支援センターが行っていることから、将来的には同センターへの委託を検討すること。

4-2 高齢化対策の推進

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度			
25	成年後見制度利用支援事業	健康福祉局 長寿支援課	市民サービス	○事業開始年度 平成13年度 【概要】成年後見人を必要とする方のために後見開始の審判の申立てや申立て費用の助成を行ったり、制度の広報・普及活動を行うことで、同制度の利用促進を図る。 【対象者】市長申立て:身寄りのない認知症高齢者等 広報:市民への周知 【具体的な活動内容】 ・成年後見開始の審判の申立て ・申立て費用の助成 ・利用促進のパンフレットの作成及び配布 ・成年後見制度の円滑な運用を図るための連絡会の開催	特会(国・県補助)	[概算コスト] 335 (内訳) ・決算額 14 ・人件費 321 (0.04人)	[概算コスト] 436 (内訳) ・決算額 119 ・人件費 317 (0.04人)	[概算コスト] 760 (内訳) ・決算額 446 ・人件費 314 (0.04人)	[概算コスト] 1,849 (内訳) ・決算額 1,538 ・人件費 311 (0.04人)	パンフレット作成部数【隔年作成】 (単位:部) [目標値] 0 [実績値] 0 達成率 -	[目標値] 3,000 [実績値] 3,000 達成率 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 達成率 -	[目標値] 3,000 [実績値] 0 達成率 -	申立件数 (単位:件) [目標値] 2 [実績値] 2 達成率 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 達成率 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 達成率 100.0%	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照	
26	寝たきり高齢者等訪問歯科診療推進補助事業	健康福祉局 長寿支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成8年度 【概要】寝たきり高齢者等の歯科診療を推進するため、事業者に補助する。 【対象者】市歯科医師会 【具体的な活動内容】 歯科診療が必要な寝たきり高齢者等の歯科診療を推進するため、歯科医師会が訪問診療を行うのに必要な機材購入費及び運営費に補助する。	市単	[概算コスト] 3,550 (内訳) ・決算額 2,747 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 3,567 (内訳) ・決算額 2,775 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 3,532 (内訳) ・決算額 2,747 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 3,575 (内訳) ・決算額 2,797 ・人件費 778 (0.10人)	補助金額 (単位:円) [目標値] 2,747,000 [実績値] 2,747,000 達成率 100.0%	[目標値] 2,775,000 [実績値] 2,775,000 達成率 100.0%	[目標値] 2,747,000 [実績値] 2,747,000 達成率 100.0%	[目標値] 2,798,000 [実績値] 2,747,000 達成率 98.5%	診療申込による専任歯科衛生士の訪問回数 (単位:件) [目標値] 400 [実績値] 492 達成率 123.0%	[目標値] 400 [実績値] 401 達成率 100.3%	[目標値] 400 [実績値] 441 達成率 110.3%	A	A	継続 (理由) 寝たきり高齢者の口腔機能の維持改善と保健衛生の向上に寄与しており、必要な事業である。	
27	後期高齢者長寿健康診事業	健康福祉局 長寿支援課	その他	○事業開始年度 平成20年度 【概要】被保険者に対し、長寿健診を実施することにより糖尿病や高血圧疾患など生活習慣病を早期発見し、適切な医療につなぐことにより、重症化を予防する。 【対象者】被保険者のうち一部対象除外者を除く 【具体的な活動内容】毎年4月に受診券を送付し、被保険者は本市の委託する健診実施機関で受診する。 ・健診に係るデータ管理及び費用の支払いに関する業務は県国民健康保険団体連合会に委託する。 (主な健診内容) 既往歴の調査、自覚症状及び他覚症状の有無、BMIの測定、肝機能検査、心電図検査、血糖検査、尿検査のほか、医師の判断により貧血検査、心電図検査、眼底検査	特会	[概算コスト] 73,522 (内訳) ・決算額 71,514 ・人件費 2,008 (0.25人)	[概算コスト] 85,099 (内訳) ・決算額 83,118 ・人件費 1,981 (0.25人)	[概算コスト] 90,619 (内訳) ・決算額 88,657 ・人件費 1,962 (0.25人)	[概算コスト] 96,256 (内訳) ・決算額 94,312 ・人件費 1,944 (0.25人)	受診者数 (単位:人) [目標値] 9,086 [実績値] 8,490 達成率 93.4%	[目標値] 9,248 [実績値] 8,642 達成率 93.4%	[目標値] 9,315 [実績値] 9,273 達成率 99.5%	[目標値] 9,630 [実績値] 9,273 達成率 96.3%	受診率 (単位:%) [目標値] 13.0 [実績値] 13.2 達成率 101.5%	[目標値] 13.7 [実績値] 13.2 達成率 96.4%	[目標値] 13.9 [実績値] 13.8 達成率 99.3%	A	A	継続 (理由) 後期高齢者の疾病予防と医療費の抑制につながるものであり、必要な事業である。	
28	後期高齢者保健事業	健康福祉局 長寿支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成20年度 【概要】被保険者がはり又はきゅうの施術や人間ドック及び脳ドックを受診する被保険者に対し、検査費用の一部を補助する。 【対象者】(はり、きゅう)前年度の後期高齢者医療保険料を完納した者(人間ドック、脳ドック)前年度の後期高齢者医療保険料を完納し、前年度に同補助金の交付を受けていない者等 【具体的な活動内容】はり、きゅう施設利用補助、人間ドック、脳ドック利用補助	特会	[概算コスト] 82,469 (内訳) ・決算額 78,213 ・人件費 4,256 (0.53人)	[概算コスト] 86,268 (内訳) ・決算額 82,069 ・人件費 4,199 (0.53人)	[概算コスト] 94,036 (内訳) ・決算額 89,876 ・人件費 4,160 (0.53人)	[概算コスト] 100,599 (内訳) ・決算額 96,478 ・人件費 4,121 (0.53人)	はり、きゅう施設利用者交付者 (単位:人) [目標値] 3,800 [実績値] 3,883 達成率 102.2%	[目標値] 3,983 [実績値] 4,076 達成率 102.3%	[目標値] 4,194 [実績値] 4,366 達成率 104.1%	[目標値] 4,458 [実績値] 4,366 達成率 98.8%	はり、きゅう施設利用件数 (単位:件) [目標値] 67,000 [実績値] 67,497 達成率 100.7%	[目標値] 68,905 [実績値] 72,144 達成率 104.7%	[目標値] 72,556 [実績値] 78,641 達成率 108.4%	A	A	継続 (理由) 後期高齢者の疾病予防と医療費の抑制につながるものであり、必要な事業である。	
29	高齢者住宅改造費助成事業	健康福祉局 長寿支援課(谷山・福祉課)	助成・育成	○事業開始年度 平成9年度 【概要】在宅の虚弱高齢者・寝たきり高齢者等がいる世帯に対し、住宅改造に必要な経費を助成し、高齢者等の自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図る。 【対象者】介護保険で要支援以上の認定を受けた65歳以上の高齢者または、その世帯の生計中心者 【具体的な活動内容】 ・助成審査委員会を設置し、審査会を開催する。 ・補助対象経費の3分の2を助成(上限66万6千円)	市単	[概算コスト] 49,834 (内訳) ・決算額 44,213 ・人件費 5,621 (0.70人)	[概算コスト] 50,670 (内訳) ・決算額 48,293 ・人件費 2,377 (0.30人)	[概算コスト] 62,875 (内訳) ・決算額 59,735 ・人件費 3,140 (0.40人)	[概算コスト] 65,710 (内訳) ・決算額 62,600 ・人件費 3,110 (0.40人)	補助金の総額 (単位:千円) [目標値] 35,000 [実績値] 44,213 達成率 126.3%	[目標値] 50,000 [実績値] 46,078 達成率 92.2%	[目標値] 50,000 [実績値] 57,521 達成率 115.0%	[目標値] 50,000 [実績値] 50,000 達成率 100.0%	住宅改造の助成件数 (単位:件) [目標値] 70 [実績値] 101 達成率 144.3%	[目標値] 100 [実績値] 101 達成率 101.0%	[目標値] 100 [実績値] 126 達成率 126.0%	A	A	継続 (理由) 在宅の虚弱老人、寝たきり老人等の自立促進と介護者の負担軽減を図るため、必要な事業である。	
30	高齢者住宅生活援助員派遣事業	健康福祉局 長寿支援課	市民サービス	○事業開始年度 平成10年度 【概要】デイサービス事業を運営する社会福祉法人から生活援助員を市営住宅内の事務所に派遣し、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう、その在宅生活を支援する。 【対象者】シルバーハウジング入居者 【具体的な活動内容】生活指導・相談、安否の確認等のサービスを必要に応じて提供する。	特会(国・県補助)	[概算コスト] 8,141 (内訳) ・決算額 4,126 ・人件費 4,015 (0.50人)	[概算コスト] 7,926 (内訳) ・決算額 3,964 ・人件費 3,962 (0.50人)	[概算コスト] 8,069 (内訳) ・決算額 4,144 ・人件費 3,925 (0.50人)	[概算コスト] 9,034 (内訳) ・決算額 5,146 ・人件費 3,888 (0.50人)	配置箇所 (単位:箇所) [目標値] 5 [実績値] 5 達成率 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 達成率 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 達成率 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 達成率 100.0%	生活相談件数 (単位:件) [目標値] 1,000 [実績値] 1,318 達成率 131.8%	[目標値] 1,000 [実績値] 1,319 達成率 131.9%	[目標値] 1,000 [実績値] 1,114 達成率 111.4%	A	A	継続 (理由) 高齢者の各種相談や安否確認による自立支援に寄与しており、必要な事業である。	

4-2 高齢化対策の推進

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度				24年度	25年度
31	元気づくり高齢者促進事業	健康福祉局 長寿支援課	その他	○事業開始年度 平成23年度 【概要】 元気づくり高齢者調査票により、要支援・要介護状態になる恐れのある虚弱高齢者(元気づくり高齢者)を把握する。 【対象者】 要支援・要介護者を除く介護保険の第1号被保険者 【具体的な活動内容】 元気づくり高齢者調査票を要支援・要介護者を除く介護保険の第1号被保険者に配布後、郵送及び訪問にて回収し、介護予防事業の対象者を決定する。 調査票発送数:25年度 88,000件	特会(国・県補助)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.00人)	[概算コスト] 46,128 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.60人)	[概算コスト] 47,467 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.60人)	[概算コスト] 46,169 (内訳) ・予算額 ・人件費 (0.60人)	元気づくり高齢者調査票発送数 (単位:件)	[目標値] 103,000 [実績値] 99,547 <達成率> 96.6%	[目標値] 84,400 [実績値] 83,879 <達成率> 99.4%	[目標値] 88,000	元気づくり高齢者把握数 (単位:件)	[目標値] 11,200 [実績値] 14,444 <達成率> 129.0%	[目標値] 11,680 [実績値] 16,880 <達成率> 144.5%	[目標値] 15,100	A	A	継続 (理由) 介護予防を推進するためには、要支援・要介護状態になる恐れのある「元気づくり高齢者」前に早期に発見する必要があることから必要な事業である。		
32	はつらつ元気づくり教室事業	健康福祉局 長寿支援課	その他	○事業開始年度 平成24年度 (平成23年度までは運動機能向上事業として実施) 【概要】 要支援・要介護状態になる恐れのある高齢者(元気づくり高齢者)の運動器や口腔機能、低栄養などの生活機能低下を予防するため、運動器を中心とした介護予防プログラム(はつらつ元気づくり教室)をデイスサービス等の事業所に委託して実施する。 【対象者】 元気づくり高齢者のうち、アセスメントにより介護予防プログラム(はつらつ元気づくり教室)の参加が必要と判断された者 【具体的な活動内容】 ・運動器機能向上プログラム ・転倒・骨折予防プログラム、膝痛腰痛対策プログラム ・複合プログラム 運動器機能向上に栄養改善又は口腔機能向上を追加したプログラム	特会(国・県補助)	[概算コスト] 37,346 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.80人)	[概算コスト] 57,997 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.80人)	[概算コスト] 79,279 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.80人)	[概算コスト] 83,076 (内訳) ・予算額 ・人件費 (0.80人)	事業参加者実人数 (単位:人)	[目標値] 535 [実績値] 455 <達成率> 85.0%	[目標値] 918 [実績値] 815 <達成率> 88.8%	[目標値] 940 [実績値] 1,181 <達成率> 125.6%	[目標値] 1,252	教室終了者のうち運動器評価で維持改善が見られた割合 (単位:%)	[目標値] 80 [実績値] 89.1 <達成率> 111.4%	[目標値] 80 [実績値] 91.1 <達成率> 113.9%	[目標値] 80 [実績値] 98.5 <達成率> 123.1%	[目標値] 80	A	C	統合 (理由) ※外部評価報告書参照
33	口腔機能向上事業	健康福祉局 保健予防課	助成・育成	○事業開始年度 平成18年度 【概要】 口腔機能低下のおそれのある高齢者を対象に口腔機能向上プログラムを実施し、口腔機能低下の予防・改善を図る。 【対象者】 元気づくり高齢者促進事業(長寿支援課)により、「元気づくり高齢者」に決定された者のうち、地域包括支援センターが実施したアセスメントで事業参加が必要と認められた者 【具体的な活動内容】 ・歯科医師会に委託し、歯科医院で事業を実施する ・月2回全6回、歯科衛生士等による口腔機能向上プログラム(口腔機能についての健康教育、機能向上のための訓練、口腔衛生指導等)を実施。	特会(国・県補助)	[概算コスト] 6,292 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.28人)	[概算コスト] 13,340 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.73人)	[概算コスト] 11,437 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.28人)	[概算コスト] 17,041 (内訳) ・予算額 ・人件費 (0.28人)	参加延人数 (単位:人)	[目標値] 1,140 [実績値] 685 <達成率> 60.1%	[目標値] 1,200 [実績値] 1,235 <達成率> 102.9%	[目標値] 2,520 [実績値] 1,520 <達成率> 60.3%	[目標値] 2,580	口腔機能が維持・改善された人の割合 (単位:%)	[目標値] 100 [実績値] 97.6 <達成率> 97.6%	[目標値] 100 [実績値] 97.9 <達成率> 97.9%	[目標値] 100	B	C	統合 (理由) ※外部評価報告書参照	
34	高齢者栄養改善事業	健康福祉局 保健予防課	助成・育成	○事業開始年度 平成18年度 【概要】 高齢者の低栄養を早期に発見するとともに、「食べること」に対して個別の相談等を受けることにより、低栄養状態の改善を行う。 【対象者】 高齢者促進事業(長寿支援課)により、「元気づくり高齢者」に決定された者のうち、地域包括支援センターが実施したアセスメントで事業参加が必要と認められた者 【具体的な活動内容】 ・特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等に委託し、通所または訪問により事業を実施 ・1人の相談等回数 3~6月間に8回	特会(国・県補助)	[概算コスト] 2,025 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.15人)	[概算コスト] 2,275 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.15人)	[概算コスト] 2,437 (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.15人)	[概算コスト] 4,025 (内訳) ・予算額 ・人件費 (0.15人)	委託事業所数 (単位:か所)	[目標値] 18 [実績値] 12 <達成率> 66.7%	[目標値] 18 [実績値] 15 <達成率> 83.3%	[目標値] 18 [実績値] 12 <達成率> 66.7%	[目標値] 18	参加延人数 (単位:人)	[目標値] 880 [実績値] 217 <達成率> 24.7%	[目標値] 880 [実績値] 197 <達成率> 22.4%	[目標値] 880 [実績値] 236 <達成率> 26.8%	[目標値] 520	B	C	統合 (理由) ※外部評価報告書参照
35	高齢者健康相談事業	健康福祉局 保健予防課	助成・育成	○事業開始年度 平成18年度 【概要】 心身の健康や生活習慣病の予防等に関する個別の相談を保健センターや地域で集団健康教育を実施し、高齢者の健康づくりを推進する。 【対象者】 65歳以上の高齢者 【具体的な活動内容】 ・定期の健康相談(保健センター月2回、保健福祉課月1回) ・地域での健康相談(医療機関の少ない地域等で実施) ・血圧測定や血液検査等を活用した健康相談 ・項目ごとに自己負担額を設定	特会(国・県補助)	[概算コスト] 22,218 (内訳) ・決算額 ・人件費 (2.21人)	[概算コスト] 21,987 (内訳) ・決算額 ・人件費 (2.21人)	[概算コスト] 21,672 (内訳) ・決算額 ・人件費 (2.21人)	[概算コスト] 22,453 (内訳) ・予算額 ・人件費 (2.21人)	健康相談開催回数 (単位:回)	[目標値] 375 [実績値] 583 <達成率> 155.5%	[目標値] 375 [実績値] 591 <達成率> 157.6%	[目標値] 550 [実績値] 580 <達成率> 105.5%	[目標値] 550	健康相談利用者数 (単位:人)	[目標値] 6,500 [実績値] 8,097 <達成率> 124.6%	[目標値] 6,500 [実績値] 8,441 <達成率> 129.9%	[目標値] 6,500 [実績値] 8,726 <達成率> 134.2%	[目標値] 6,500	A	A	継続 (理由) 高齢者の健康管理、介護予防等の推進に寄与しており必要な事業である。
36	介護予防健康教育事業	健康福祉局 保健予防課	助成・育成	○事業開始年度 平成18年度 【概要】 生活習慣病の予防や健康増進、介護予防などについて、保健センターや地域で集団健康教育を実施し、生涯を通じた健康づくりを支援する。 【対象者】 65歳以上の高齢者 【具体的な活動内容】 転倒予防教室、認知症予防教室、生活習慣病予防教室、低栄養予防教室、口腔機能予防教室、薬の健康教室、こころ(うつ予防)の健康教室、ひざ痛・腰痛予防教育等を実施	特会(国・県補助)	[概算コスト] 38,815 (内訳) ・決算額 ・人件費 (3.81人)	[概算コスト] 38,734 (内訳) ・決算額 ・人件費 (3.81人)	[概算コスト] 38,355 (内訳) ・決算額 ・人件費 (3.81人)	[概算コスト] 38,678 (内訳) ・予算額 ・人件費 (3.81人)	教室開催回数 (単位:回)	[目標値] 1,200 [実績値] 1,422 <達成率> 118.5%	[目標値] 1,250 [実績値] 1,576 <達成率> 126.1%	[目標値] 1,300 [実績値] 1,639 <達成率> 126.1%	[目標値] 1,325	受講者数 (単位:人)	[目標値] 25,550 [実績値] 30,505 <達成率> 119.4%	[目標値] 25,550 [実績値] 32,976 <達成率> 129.1%	[目標値] 25,550 [実績値] 33,401 <達成率> 130.7%	[目標値] 25,650	A	A	継続 (理由) 高齢者の介護予防や健康づくりに寄与しており必要な事業である。なお、本事業で実施する内容が、他事業と重複することがないよう、関係各課とも調整の上実施すること。

4-2 高齢化対策の推進

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度				24年度	25年度
37	お達者クラブ運営支援事業	健康福祉局 保健予防課	助成・育成	○事業開始年度 平成12年度  【概要】身近な公民館等で実施しているお達者クラブの運営を支援する。 【対象者】心身の機能が低下している高齢者及びそれを支える高齢者等(健康づくり推進員) 【具体的な活動内容】閉じこもりや孤独等の社会的障害の回復や生活習慣病・介護予防等のために絵画・工作等の創作やレクリエーション等を実施している「お達者クラブ」の運営支援各クラブ月2回 年24回実施	特会(国・県補助)	69,246 (内訳) ・決算額 28,454 ・人件費 40,792 (5.08人)	73,850 (内訳) ・決算額 30,353 ・人件費 43,497 (5.49人)	84,314 (内訳) ・決算額 30,705 ・人件費 53,609 (6.83人)	71,794 (内訳) ・予算額 30,814 ・人件費 40,980 (5.27人)	お達者クラブ実施箇所数 (単位:箇所)	244 [実績値] 231 <達成率> 94.7%	245 [実績値] 239 <達成率> 97.6%	249 [実績値] 244 <達成率> 98.0%	250 [実績値] 244 <達成率> 98.0%	お達者クラブの利用者数(実数) (単位:人)	4,800 [実績値] 4,549 <達成率> 94.8%	4,800 [実績値] 4,795 <達成率> 99.9%	4,800 [実績値] 4,942 <達成率> 103.0%	4,800 [実績値] 4,942 <達成率> 103.0%	A	B	見直し (理由) 高齢者の介護予防等を図るために必要な事業であるが、各クラブの企画・運営についてもできるだけ健康づくり推進員が行うことで保健師の訪問負担を減らすなど、保健予防課としての関わり方を見直すべきである。
38	健康づくり推進員支援事業	健康福祉局 保健予防課	助成・育成	○事業開始年度 平成12年度  【概要】住民参加による保健活動と、助け合い支えあう地域づくりを推進するため、お達者クラブの運営等を行う健康づくり推進員を養成し、その活動を支援する。 【対象者】健康づくり推進員 【具体的な活動内容】健康づくり推進員の養成・健康づくり推進員協議会の支援(健康づくり推進員の研修会及び連絡会の開催、各保健センター毎に他組織のリーダーとの連絡会及び研修会の開催等)	特会(国・県補助)	17,739 (内訳) ・決算額 3,365 ・人件費 14,374 (1.79人)	17,575 (内訳) ・決算額 3,393 ・人件費 14,182 (1.79人)	17,547 (内訳) ・決算額 3,497 ・人件費 14,050 (1.79人)	17,741 (内訳) ・予算額 3,822 ・人件費 13,919 (1.79人)	健康づくり推進員数 (単位:人)	488 [実績値] 447 <達成率> 91.6%	490 [実績値] 467 <達成率> 95.3%	498 [実績値] 467 <達成率> 93.8%	500 [実績値] 467 <達成率> 93.8%	健康づくり推進員による活動回数 (単位:回)	58,000 [実績値] 62,539 <達成率> 107.8%	58,500 [実績値] 61,318 <達成率> 104.8%	61,000 [実績値] 62,946 <達成率> 103.2%	61,500 [実績値] 62,946 <達成率> 103.2%	A	A	継続 (理由) 住民による保健活動により、助け合い、支えあう地域づくりを推進するために、必要な事業である。
39	高齢者料理教室支援事業	健康福祉局 保健予防課	助成・育成	○事業開始年度 平成20年度  【概要】食生活改善推進員が実施する、高齢者を対象とする料理教室を支援することにより、高齢者がバランスのとれた食生活ができるようにし、低栄養状態になることを予防する。 【対象者】65歳以上の高齢者 【具体的な活動内容】食生活改善推進員が実施する料理教室の支援 栄養士による高齢者料理教室用レシピ作成、高齢者料理教室支援研修会(理論、調理技術等)の実施、消耗品、調味料等の支給、活動用パンフレットの購入	特会(国・県補助)	4,867 (内訳) ・決算額 1,655 ・人件費 3,212 (0.40人)	4,725 (内訳) ・決算額 1,556 ・人件費 3,169 (0.40人)	4,967 (内訳) ・決算額 1,827 ・人件費 3,140 (0.40人)	5,178 (内訳) ・予算額 2,068 ・人件費 3,110 (0.40人)	教室開催回数 (単位:回)	210 [実績値] 281 <達成率> 133.8%	220 [実績値] 308 <達成率> 140.0%	300 [実績値] 298 <達成率> 99.3%	300 [実績値] 298 <達成率> 99.3%	受講者数 (単位:人)	2,500 [実績値] 2,745 <達成率> 109.8%	2,800 [実績値] 3,017 <達成率> 107.8%	2,800 [実績値] 2,968 <達成率> 106.0%	3,000 [実績値] 2,968 <達成率> 106.0%	A	A	継続 (理由) 高齢者の低栄養状態の予防や介護予防に寄与しており、必要な事業である。 なお参加者へのアンケート等により、事業効果の把握に努めること。
40	訪問型個別支援事業	健康福祉局 長寿支援課	その他	○事業開始年度 平成18年度  【概要】要介護・要支援になる恐れのある高齢者(元気づくり高齢者)のうち、通所型サービスを利用することが困難な閉じこもり、認知症、うつ等のおそれのある者に対して家庭を訪問し、支援を行う。 【対象者】元気づくり高齢者のうち、通所型サービスを利用することが困難な閉じこもり、認知症、うつ等のおそれのある者 【具体的な活動内容】保健師が、対象者1人に対して、概ね60分の支援を3ヶ月～6か月で6回行う。(生活指導、体操、ライフレビュー等)	特会(国・県補助)	1,060 (内訳) ・決算額 96 ・人件費 964 (0.12人)	1,093 (内訳) ・決算額 142 ・人件費 951 (0.12人)	1,045 (内訳) ・決算額 103 ・人件費 942 (0.12人)	1,301 (内訳) ・予算額 368 ・人件費 933 (0.12人)	個別支援実施人数 (単位:人)	4 [実績値] 3 <達成率> 75.0%	4 [実績値] 6 <達成率> 150.0%	4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	訪問支援により維持・改善が見られた割合 (単位:%)	100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 通所型介護予防プログラム等への参加が難しい、うつ、閉じこもり、認知症等の高齢者の介護予防や自立支援を図るため、必要な事業である。
41	介護老人福祉施設等整備費補助事業	健康福祉局 長寿支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成8年度  【概要】特別養護老人ホーム等の老人福祉施設等を設置する社会福祉法人等に対し、建設費の一部を補助する。 【対象者】社会福祉法人等 【具体的な活動内容】補助金の交付 ・説明会の実施等	国・県補助	1,092,525 (内訳) ・決算額 1,087,707 ・人件費 4,818 (0.60人)	1,328,934 (内訳) ・決算額 1,324,180 ・人件費 4,754 (0.60人)	159,912 (内訳) ・決算額 155,203 ・人件費 4,709 (0.60人)	404,766 (内訳) ・予算額 400,100 ・人件費 4,666 (0.60人)	施設整備費補助件数 (単位:件)	18 [実績値] 18 <達成率> 100.0%	21 [実績値] 21 <達成率> 100.0%	2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	9 [実績値] 9 <達成率> 100.0%	特別養護老人ホーム整備に伴う定員数(累計) (単位:人)	1,960 [実績値] 1,960 <達成率> 100.0%	2,067 [実績値] 2,067 <達成率> 100.0%	2,211 [実績値] 2,211 <達成率> 100.0%	2,270 [実績値] 2,211 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 老人福祉施設の需要は高まるものとみられ、計画的な施設整備に必要な事業である。
42	住宅改修支援事業	健康福祉局 介護保険課	助成・育成	○事業開始年度 平成12年度  【概要】介護支援専門員等が住宅改修費の申請書に添付する理由書を作成する業務に対して手数料を支払う。 【対象者】介護支援専門員等が属する事業者 【具体的な活動内容】要介護認定等を受けているが、介護保険サービスを利用していない者への理由書作成業務1件につき2,000円の手数料を支払う。	特会(国・県補助)	680 (内訳) ・決算額 600 ・人件費 80 (0.01人)	793 (内訳) ・決算額 714 ・人件費 79 (0.01人)	710 (内訳) ・決算額 632 ・人件費 78 (0.01人)	792 (内訳) ・予算額 714 ・人件費 78 (0.01人)	理由書作成件数 (単位:件)	300 [実績値] 300 <達成率> 100.0%	300 [実績値] 357 <達成率> 119.0%	300 [実績値] 316 <達成率> 105.3%	300 [実績値] 316 <達成率> 105.3%	要介護者等の住宅改修支援	300 [実績値] 300 <達成率> 100.0%	300 [実績値] 357 <達成率> 119.0%	300 [実績値] 316 <達成率> 105.3%	300 [実績値] 316 <達成率> 105.3%	A	A	継続 (理由) 要介護認定等を受けているが、介護保険サービスを利用していない者の住宅改修サービスの利用支援のために、必要な事業である。

4-2 高齢化対策の推進

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度				24年度	25年度
43	訪問介護等利用者負担助成事業	健康福祉局 介護保険課	助成・育成	○事業開始年度 平成12年度 【概要】障害のある低所得者等の負担を軽減するため、訪問介護利用の利用者負担額の一部を助成する。 【対象者】障害者ホームヘルプ利用者及び障害者自立支援法(新:障害者総合支援法)の施行前から利用者負担軽減を受けていた者等 【具体的な活動内容】 ・国の特別対策の対象となっていた者(平成24年度末時点で認定されていた者)や市の訪問介護等利用者負担助成の対象となっている者がホームヘルプサービスを利用した場合、利用者負担額の1/2を助成する。 ・障害者総合支援法によるホームヘルプサービスの利用において境界層該当として定率負担額が0円となっている者については全額助成する。	県補助	[概算コスト] 6,729 [内訳] (内訳) ・決算額 6,327 ・人件費 402 (0.05人)	[概算コスト] 6,062 [内訳] (内訳) ・決算額 5,666 ・人件費 396 (0.05人)	[概算コスト] 5,272 [内訳] (内訳) ・決算額 4,880 ・人件費 392 (0.05人)	[概算コスト] 6,451 [内訳] (内訳) ・予算額 6,062 ・人件費 389 (0.05人)	訪問介護利用者負担助成対象者認定証の発行 (単位:件)	[目標値] 200 [実績値] 195 達成率 97.5%	[目標値] 195 [実績値] 181 達成率 92.8%	[目標値] 180 [実績値] 181 達成率 100.6%	[目標値] 190 [実績値] 190 達成率 100.0%	補助金交付額 (単位:千円)	[目標値] 6,274 [実績値] 6,274 達成率 100.0%	[目標値] 5,618 [実績値] 5,618 達成率 100.0%	[目標値] 4,830 [実績値] 4,830 達成率 100.0%	[目標値] 6,000 [実績値] 6,000 達成率 100.0%	A	A	継続 (理由) 障害者の訪問介護サービスの利用支援のために、必要な事業である。
44	低所得者利用者負担助成事業	健康福祉局 介護保険課	助成・育成	○事業開始年度 平成12年度 【概要】低所得者の負担を軽減するため、居宅サービス利用等の利用者負担額の一部を助成する。 1. 社会福祉法人等による軽減事業 【対象者】市町村民税非課税世帯に属する者で、収入要件等一定の要件を満たす者(生活保護者含む) 【具体的な活動内容】対象者に対し、社会福祉法人等が利用者負担額のうち、原則4分の1を軽減し、代わりに市が社会福祉法人等に補助金を交付。 2. 訪問サービス等利用者負担助成事業 【対象者】社会福祉法人等による軽減対象者と同じ。(生活保護者含まず) 【具体的な活動内容】訪問入浴介護等、在宅サービスについて利用者負担額のうち、原則4分の1を助成する。	県補助	[概算コスト] 10,336 [内訳] (内訳) ・決算額 8,730 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 8,723 [内訳] (内訳) ・決算額 7,138 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 8,771 [内訳] (内訳) ・決算額 7,201 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 11,422 [内訳] (内訳) ・予算額 9,867 ・人件費 1,555 (0.20人)	社会福祉法人等軽減対象者確認証の発行 (単位:件)	[目標値] 200 [実績値] 207 達成率 103.5%	[目標値] 205 [実績値] 220 達成率 107.3%	[目標値] 220 [実績値] 208 達成率 94.5%	[目標値] 205 [実績値] 205 達成率 100.0%	補助金交付額 (単位:千円)	[目標値] 7,656 [実績値] 7,656 達成率 100.0%	[目標値] 6,218 [実績値] 6,218 達成率 100.0%	[目標値] 6,221 [実績値] 6,221 達成率 100.0%	[目標値] 8,538 [実績値] 8,538 達成率 100.0%	A	A	継続 (理由) 低所得者世帯においても必要な訪問介護サービスの利用支援に寄与しており必要な事業である。
45	介護相談員派遣事業	健康福祉局 介護保険課	相談	○事業開始年度 平成13年度 【概要】介護相談員が介護サービスの提供の場を訪ね、サービス利用者・家族等の話を聞くことにより、利用者等の疑問や不満、不安の解消を図り、介護サービスの質的な向上を図る。 本事業は事後的な問題解決ではなく、事態を未然に防止し、利用者の日常的な不満・疑問に対応して改善の途を探る。 【対象者】介護サービス利用者、家族、事業所の職員 【具体的な活動内容】 介護相談員登録人数 7人 2人1組で対象事業所に訪問 1月ごとに報告会の開催	特会(国・県補助)	[概算コスト] 6,797 [内訳] (内訳) ・決算額 5,833 ・人件費 964 (0.12人)	[概算コスト] 6,107 [内訳] (内訳) ・決算額 5,156 ・人件費 951 (0.12人)	[概算コスト] 6,448 [内訳] (内訳) ・決算額 5,506 ・人件費 942 (0.12人)	[概算コスト] 7,145 [内訳] (内訳) ・予算額 6,212 ・人件費 933 (0.12人)	相談員数 (単位:人)	[目標値] 8 [実績値] 8 達成率 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 達成率 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 達成率 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 達成率 100.0%	相談人数 (単位:人)	[目標値] 2,500 [実績値] 2,854 達成率 114.2%	[目標値] 2,500 [実績値] 2,384 達成率 95.4%	[目標値] 2,500 [実績値] 2,652 達成率 106.1%	[目標値] 2,500 [実績値] 2,500 達成率 100.0%	A	A	継続 (理由) 介護サービス利用者等への適切なサービス提供のために、必要な事業である。 なお、単に相談等を受けるだけでなく、アンケート調査を行うなど、事業効果の把握に努めること。
46	介護給付適正化事業	健康福祉局 介護保険課	その他	○事業開始年度 平成16年度 【概要】介護保険サービスの利用に必要なケアプランを作成する居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象にケアプランの作成に係る指導・助言、講演会等の開催を通じて、保険の適正な給付及び不正請求等の防止を図る。 【対象者】利用者、居宅介護支援事業所等 【具体的な活動内容】 ・介護給付調査指導員配置 1人 ・ケアプラン適正化指導検討会 (11回/年) ・介護給付費通知の送付 (2回/年) ・介護サービス事業者等講演会 (1回/年)	特会(国・県補助)	[概算コスト] 8,646 [内訳] (内訳) ・決算額 6,799 ・人件費 1,847 (0.23人)	[概算コスト] 8,632 [内訳] (内訳) ・決算額 6,810 ・人件費 1,822 (0.23人)	[概算コスト] 8,021 [内訳] (内訳) ・決算額 6,216 ・人件費 1,805 (0.23人)	[概算コスト] 8,932 [内訳] (内訳) ・予算額 7,144 ・人件費 1,788 (0.23人)	ケアプラン適正化指導検討会開催数 (単位:回)	[目標値] 11 [実績値] 14 達成率 127.3%	[目標値] 11 [実績値] 15 達成率 136.4%	[目標値] 11 [実績値] 11 達成率 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 達成率 100.0%	ケアプラン適正化指導件数 (単位:件)	[目標値] 132 [実績値] 177 達成率 134.1%	[目標値] 132 [実績値] 163 達成率 123.5%	[目標値] 132 [実績値] 132 達成率 100.0%	[目標値] 132 [実績値] 132 達成率 100.0%	A	A	継続 (理由) 介護サービスの適正な提供のために必要な事業である。
47	サービス事業者情報提供事業	健康福祉局 介護保険課	相談	○事業開始年度 平成12年度 【概要】市民が介護保険対象サービスを行う事業所選択などの一助となるよう市民に情報提供をする。また、介護保険相談員を配置し市民の相談を受けることで、介護保険を利用しやすい環境を整える。 【対象者】市民及び介護保険事業所 【具体的な活動内容】 1. 介護保険相談員の配置5人(本庁2人、谷山支所1人、伊敷支所1人、吉野支所1人) 2. 指定事業所一覧の作成・配布 3. ガイドブックの作成・配布(25年度に見直し)	特会(国・県補助)	[概算コスト] 14,603 [内訳] (内訳) ・決算額 12,595 ・人件費 2,008 (0.25人)	[概算コスト] 15,220 [内訳] (内訳) ・決算額 13,239 ・人件費 1,981 (0.25人)	[概算コスト] 14,970 [内訳] (内訳) ・決算額 13,008 ・人件費 1,962 (0.25人)	[概算コスト] 15,082 [内訳] (内訳) ・予算額 13,138 ・人件費 1,944 (0.25人)	介護保険相談員の配置 (単位:人)	[目標値] 5 [実績値] 5 達成率 100.0%	相談件数 (単位:件)	[目標値] 8,000 [実績値] 8,780 達成率 109.8%	[目標値] 9,000 [実績値] 9,742 達成率 108.2%	[目標値] 10,000 [実績値] 10,960 達成率 109.6%	[目標値] 11,000 [実績値] 11,000 達成率 100.0%	A	A	継続 (理由) 介護サービスに関する情報提供や相談により、市民福祉の向上に寄与しており、必要な事業である。			
48	地域包括支援センター運営事業	健康福祉局 長寿支援課	相談	○事業開始年度 平成18年度 【概要】高齢者の介護予防及び自立支援のため、地域包括支援センターにおいて保健師等が総合相談支援や介護予防ケアマネジメント業務等を行う。 【対象者】65歳以上の高齢者やその家族 【具体的な活動内容】 ・介護予防ケアマネジメント業務 ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	特会(国・県補助)	[概算コスト] 477,565 [内訳] (内訳) ・決算額 471,783 ・人件費 5,782 (0.72人)	[概算コスト] 477,067 [内訳] (内訳) ・決算額 471,362 ・人件費 5,705 (0.72人)	[概算コスト] 526,011 [内訳] (内訳) ・決算額 520,360 ・人件費 5,651 (0.72人)	[概算コスト] 549,144 [内訳] (内訳) ・予算額 543,545 ・人件費 5,599 (0.72人)	センター設置か所数 (単位:か所)	[目標値] 15 [実績値] 15 達成率 100.0%	[目標値] 15 [実績値] 15 達成率 100.0%	[目標値] 17 [実績値] 17 達成率 100.0%	[目標値] 17 [実績値] 17 達成率 100.0%	総合相談件数 (単位:件)	[目標値] 25,000 [実績値] 25,108 達成率 100.4%	[目標値] 30,000 [実績値] 32,611 達成率 108.7%	[目標値] 30,000 [実績値] 35,227 達成率 117.4%	[目標値] 35,000 [実績値] 35,000 達成率 100.0%	A	A	継続 (理由) 地域包括支援センターは、地域包括ケアの中核機関であり、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく一体的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築していくために必要な事業である。

4-2 高齢化対策の推進

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度				24年度	25年度
49	高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定管理事業	健康福祉局長寿支援課介護保険課	市民サービス	○事業開始年度 平成10年度 【概要】総合的な高齢者対策の推進や介護保険制度運営の基本となる「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定や進行管理を行う。 【対象者】高齢者等 【具体的な活動内容】 ・委員会の開催 年1回(計画策定年度は年6回開催) ・高齢者等実態調査	特会	[概算コスト] 7,340 (内訳) ・決算額 4,690 ・人件費 2,650 (0.33人)	[概算コスト] 10,393 (内訳) ・決算額 3,262 ・人件費 7,131 (0.90人)	[概算コスト] 2,805 (内訳) ・決算額 215 ・人件費 2,590 (0.33人)	[概算コスト] 7,312 (内訳) ・予算額 4,746 ・人件費 2,566 (0.33人)	委員会の開催回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に基づく事業数	[目標値] 163 [実績値] 163 <達成率> 100.0%	[目標値] 190 [実績値] 190 <達成率> 100.0%	[目標値] 198 [実績値] 198 <達成率> 100.0%	[目標値] 198 [実績値] 198 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 本市が実施する高齢者施策の基となる計画であり、各種事業が適切に実施されているか進捗を確認するために必要な事業である。
50	認知症施策総合推進事業	健康福祉局長寿支援課	相談	○事業開始年度 平成21年度 【概要】認知症疾患医療センターや介護サービス及び地域の支援機関をつなぐコーディネーターとしての役割を担う認知症地域支援推進員と認知症専門の嘱託医を地域包括支援センターに配置し、医療と介護の連携強化や地域における支援体制の構築を図る。 【対象者】地域の医療機関及び認知症の人やその家族、地域住民 【具体的な活動内容】 ・医療機関、介護事業所等への講演会等の開催 ・専門医による認知症の人や家族等への個別相談 ・市民向け講演会の開催 等	特会(国補助)	[概算コスト] 6,844 (内訳) ・決算額 5,880 ・人件費 964 (0.12人)	[概算コスト] 6,894 (内訳) ・決算額 5,943 ・人件費 951 (0.12人)	[概算コスト] 7,368 (内訳) ・決算額 6,426 ・人件費 942 (0.12人)	[概算コスト] 7,430 (内訳) ・予算額 6,497 ・人件費 933 (0.12人)	研修会、講演会等の開催数 (単位:回)	[目標値] 5 [実績値] 6 <達成率> 120.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 8 <達成率> 133.3%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	研修会、講演会の参加者数 (単位:人)	[目標値] 200 [実績値] 206 <達成率> 103.0%	[目標値] 300 [実績値] 340 <達成率> 113.3%	[目標値] 300 [実績値] 343 <達成率> 114.3%	[目標値] 300 [実績値] 300 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 認知症患者は増加が見込まれ、地域における支援体制を構築するうえで必要な事業である。 なお、研修会等の参加者へアンケート調査を実施するなど、事業効果の把握に努めること。
51	認知症サポーター養成研修事業	健康福祉局長寿支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成20年度 【概要】誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を応援する認知症サポーターを養成する。 【対象者】市民及び市内に通勤・通学している者 【具体的な活動内容】 委託先:公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島支部 ・認知症サポーター養成講座の実施 ・キャラバン・メイト(養成講座の講師役)の研修会・連絡会の実施	特会(国・県補助)	[概算コスト] 2,829 (内訳) ・決算額 1,223 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 2,662 (内訳) ・決算額 1,077 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 2,630 (内訳) ・決算額 1,060 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 2,818 (内訳) ・予算額 1,263 ・人件費 1,555 (0.20人)	養成講座開催数 (単位:人)	[目標値] 127 [実績値] 127 <達成率> 100.0%	[目標値] 109 [実績値] 109 <達成率> 100.0%	[目標値] 118 [実績値] 118 <達成率> 100.0%	[目標値] 134 [実績値] 134 <達成率> 100.0%	認知症サポーター養成者数 (単位:人)	[目標値] 3,000 [実績値] 4,291 <達成率> 143.0%	[目標値] 3,000 [実績値] 3,867 <達成率> 128.9%	[目標値] 3,000 [実績値] 3,252 <達成率> 108.4%	[目標値] 3,000 [実績値] 3,000 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 現在、認知症の人は高齢者の10人に1人いるといわれている中、今後も認知症の人の増加が見込まれることから、認知症の人や家族を支援する認知症サポーターの養成は必要な事業である。
52	認知症相談窓口設置事業	健康福祉局長寿支援課	相談	○事業開始年度 平成23年度 【概要】認知症の人が住みなれた地域で安心して住み続けるため、認知症の相談や周知・広報を行う相談窓口を、市民に身近な地域福祉館等へ設置し、認知症に関する専門団体に委託し、介護家族等へ適切な情報提供等を行うとともに、精神的な負担軽減を図る。 【対象者】認知症の人やその家族、地域住民 【具体的な活動内容】 委託先:公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島支部 ・ピアカウンセリング(認知症介護経験者による相談) ・情報提供、認知症の周知・広報活動	特会(国・県補助)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0	[概算コスト] 3,639 (内訳) ・決算額 2,688 ・人件費 951 (0.12人)	[概算コスト] 3,147 (内訳) ・決算額 2,205 ・人件費 942 (0.12人)	[概算コスト] 3,145 (内訳) ・予算額 2,212 ・人件費 933 (0.12人)	窓口設置か所数 (単位:か所)	[目標値] 33 [実績値] 33 <達成率> 100.0%	[目標値] 33 [実績値] 33 <達成率> 100.0%	[目標値] 33 [実績値] 33 <達成率> 100.0%	[目標値] 33 [実績値] 33 <達成率> 100.0%	来所者数 (単位:人)	[目標値] 150 [実績値] 242 <達成率> 161.3%	[目標値] 150 [実績値] 188 <達成率> 125.3%	[目標値] 150 [実績値] 150 <達成率> 100.0%	[目標値] 150 [実績値] 150 <達成率> 100.0%	A	B	見直し 認知症に対する相談業務や広報啓発は必要であるが、相談窓口の設置箇所数に対して相談件数が少ないことから、地域包括支援センターで相談できるような体制を検討するなど、広報手段、窓口設置場所の見直しを図るべきである。